

## 事前評価個表

整理番号	56
------	----

地域（地区）名	<small>こなん</small> 湖南地域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	滋賀県	対象市町村	大津市ほか8市町
事業実施期間	H23 ~ H27（5年間）	事業実施主体	県、造林公社、市町、森林組合等

事業の概要・目的	<p>湖南地域は、県の南部に位置し、京阪神方面への通勤圏内にあり、特に南西部から中央部では住宅開発を中心とした市街地開発が著しい。</p> <p>地域内の森林面積は96,679ha(民有林:89,502ha、国有林:7,177ha、森林率54%)で、人工林が40,274ha(民有林:37,753ha、国有林:2,521ha、人工林率42%(県平均:42%))であり、水源かん養や災害防止などの役割を担ってきたほか、都市化が進んでいることから景観、森林とのふれあいなど保健休養の働きも果たしてきた。</p> <p>しかし、近年の森林・林業を取り巻く状況は、林業従事者の減少や高齢化、野生鳥獣被害の発生など極めて厳しく、手入れ不足の森林が増加している。このままでは、水源かん養など森林の持つ多面的機能が十分に発揮されず、県民の暮らしに深刻な影響をもたらすことが懸念される。その一方で、森林資源の充実とともに木材の再生可能な資源としての重要性が高まっている。また地球温暖化防止のための二酸化炭素の吸収源としての役割など以前にも増して森林の持つ多面的機能の発揮への期待が高まっている。</p> <p>このため、森林の多面的機能を十分に発揮させるような森林整備に努め、人工林では環境に配慮しながら木材資源の資源利用を目指し地域の実情に応じた効率的・効果的な森林整備を推進する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：8,077ha 人工造林、樹下植栽等、下刈り、枝打ち、除伐、間伐、森林作業道等</p> <p>総事業費：2,780,000千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 2.03 (総便益(B) = 13,212,247千円、総費用(C) = 6,504,217千円)</p>
評価結果	<p>必要性：森林の多面的機能の発揮や適正な保育管理の推進からみて必要である。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：水源かん養、国土保全等の機能の維持・増進とともに優良材の安定的な生産にとって有効であり、森林の多面的機能の発揮され安全で安心できる生活の確保が期待できる。</p> <p>本計画では、森林の多面的機能を発揮するために必要な森林整備が適切に計画されている。また、効率性、有効性も認められることから、森林環境保全整備事業計画として実施することが適当である。</p>

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業  
 地域名: 湖南

滋賀県  
 (単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	4,829,360	
	流域貯水便益	1,091,811	
	水質浄化便益	1,863,930	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,389,521	
	土砂崩壊防止便益	20,938	
環境保全便益	炭素固定便益	64,264	
木材生産便益	木材生産確保・増進便益	1,952,423	
総 便 益 (B)		13,212,247	
総 費 用 (C)		6,504,217	
費用便益比	$B \div C = \frac{13,212,247}{6,504,217} = 2.03$		

# 森林環境保全整備事業 湖南地域(滋賀県)概要図



凡 例	
計画区界	——
事業区域	
森林整備	

